

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立南六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習事項を活かして歌唱や器楽等の学習にすすんで関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら取り組むことができた。
- ・全体で振り返りを行い、共有することで、音楽の表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲の演奏のよさなどを見出すことができ、思いをもって演奏することができた。

(2) 課題

- ・曲想にふさわしい歌唱や器楽の表現を工夫する力が十分に身に付いていない児童がいるため、その音楽の固有の雰囲気や表現を理解したり体験させたりする活動を充実させていく必要がある。
- ・歌唱や器楽では、知識や技能が十分に身に付いていない児童がいるため、音程・リズム・発声や運指などの基礎的な知識と技能を身に付けさせる必要がある。

2 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・明るい歌声で表現する児童が多い。 ・拍とリズムの違いについて明確に理解しておらず、拍にのって歌ったり楽器演奏したりすることについての理解が十分ではない児童がやや多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を味わって聴き、思いをもつことはできているが、その思いを言葉にすることが難しい傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲のよさを感じ、楽しく意欲的に活動をする児童が多い。 ・友達と互いに学び、高め合う意識をもって取り組める児童が多い。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・明るい歌声や、伸び伸びと歌えている児童が多い。 ・音楽用語や記号の理解が不十分である。 ・楽器演奏における基礎基本が十分に身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲によって、表現の仕方を考えながら歌う児童が多い。 ・聴き取れたことを言葉で表現することが難しい傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の活動に対する意欲があり、興味や関心をもって取り組める児童が多い。 ・友達と互いに学んだり教え合ったりして取り組める児童が多い。 ・友達の様子を気にして、自分の学習に集中することが難しい児童がいる。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地声と歌声を区別し、表現豊かに歌える児童が多い。 ・音楽用語は、強弱記号を中心に身に付いてきている。 ・リコーダーの技能習得に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想に合った表現の仕方を考えることができる児童が多い。 ・聴き取れたことを具体的な言葉で表すことが難しい傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味や関心をもって主体的に音楽の活動をするのできる児童が多い。 ・自分の表現に自信をもてず、高い意欲をもって取り組むことが難しい児童がいる。 ・曲想に合っていない歌声やリズムの手拍子・足踏みの表現を意図的に行い、それぞれの曲想に合った音楽の表現をすることが難しい児童がいる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 曲の歌詞から、どのような歌声で表現していくことが大切かを、歌声とともに身体で表現する時間をつくる。 拍の流れにのって歌ったり楽器演奏したりする基礎基本が身に付くよう、拍の頭を強調する活動など、工夫した取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を聴いて感じたことのヒントワードを表示し、その中でどれがふさわしいかを全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア学習やグループ学習をより多く取り入れ、自分だけではなく、友達と活動する楽しさを味わえるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入で、音楽用語や記号を確認する時間を取り入れ、身に付けられるようにする。 楽器演奏の基礎基本の運指や指の位置が定着するよう、図を見て確認しながら取り組ませることで、理解できるようにし、技能向上にもつなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を聴いて感じたことのヒントワードを表示し、その中でどれがふさわしいかを全体で確認したり、ヒントワードを参考にし、自分自身でワークシートにまとめたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> その日の授業の中で身に付けたいことを毎回確認し、授業の最後にねらいを達成できたかを振り返らせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 音域を広げる方法や声を響かせる方法などの表現の仕方を一つ一つ確認し、表現する技能を身に付けられるようにする。 授業の導入では、基本的な運指で行えるリコーダーの演奏を行い、指の位置を定着させたり、運指を身に付けたりできるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を聴いて、曲想の変化などを言葉で表現できるよう、ヒントワードを表示する。また、タブレットでまとめたことを共有させ、次回以降の活動につなげていく。 曲想に合った表現になるよう、その曲の目指したい表現方法を考えさせたり、共有させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を確認しながら取り組ませることで、着実に学習内容を身に付けさせ、意欲を高められるようにする。 音楽での活動を集団で取り組める良さや魅力に気付くことができる活動を取り入れたり、様々な音楽のジャンルがあるということを知るための鑑賞活動を行ったりする。